



マルキ通信

2005.5 たまには雪のことでも思い出そう!

会長 川島 徹也

今年はかつて過去に経験の無い豪雪、大雪で近畿のスキー場の閉山も延びた様子でした。シーズン前の05長期予報では暖冬で、ツアーバスの運行も初めから中止の場合を考えての計画でスタートしました。しかし現実には予報とは大違いの大雪でパトロールも終始ゲレンデ整備に追われっぱなしの現状で、全ての年間行事にはなんの支障もなく行事参加者数もまずまずで事故もなく無事終了しました事ご報告させていただきます。

また、シーズン中の町の雪捨て場も満タンで各所の田畑に山をつくったこれらの撤去完了まで農家も春に向けての準備もずいぶん遅れたとの事でした。

また、スキー場も休業に追い込まれた所もある、あれやこれやの2005年度でした。

お正月スキーツアー
のご報告

日 程 平成16年12月30日～17年1月4日
スキー場 野沢温泉スキー場
参加者 38名

週末親睦スキーツアー
のご報告

日 程 平成17年2月5日～17年2月6日
スキー場 ミカタスノーパーク
参加者 12名

サヨナラスキーツアー
のご報告

日 程 平成17年3月19日～17年3月21日
スキー場 野沢温泉スキー場
参加者 35名



スノーボード考-05-

今年の雪は良く積りました。12月の初めは北海道でも雪は少なかったのに。しかし、よく雪も頑張りました。ボーダー達もパウダーランが楽しめたことと思えた一年でした。

(自己総括)

用具は04のままゴーグルを新しくして05を満喫しました。05テクニックはカービングとスキッド！腕の使い方でもメリハリをつけて滑る。特に急斜面を好んで腕の使い方とスイングに注意した。構えからスイングお尻の中の筋肉を使うようにした。持久筋が04から不安なので膝の負担を意識した。

05のパウダーは体重76の割には感覚的に軽かった。あまり潜らなかった。チョットした温度差で抵抗が変化するいい雪にめぐり逢えた05でした。

(パーク)考

ボックス、レール、ジャンプ、をゲレンデに設置しているところが多くなってきて久しいが、やはりけが人も多く出ている。ひとつ、ひとつ、ハードルをクリアする楽しさと危険が同居して人気は衰えない。できる、できないがはっきり表れる。判断の基準が特別難しくない。できれば次、できれば又その次と身近な目標に向かうことができる。とやかく言われる前に自分自身でアタックできる。見られている楽しさも考えれば、心弾みワクワクすること請け合い！

ここには「バランスと根性」というスノーボードの基本が詰まっているのです。

ジャンプの色々なトリックをマスターする楽しさ、これも理解し易いことだと思います。仲間とワイワイやりながらそれぞれのテクニックを評価することが出来る。これも天上から下界へ落ちていく中での楽しみ方の王道であると思います。もう一度「ボードはバランスと根性！」パークはそんな気にさせてくれるアイテムがたくさんあるのです。

(こぶ)考

柔らかいこぶは、リラックスとセンターポジション、硬いこぶはノーズを捌(さば)くテンポ。テールでブレーキとアクセル。そして、硬直しない膝。なんて、言葉では簡単。ところが実際は、掌は力み、腕は固まり、目線は前を見ることが出来なくなり、こぶに触れるたびにボードを横向ける、ハートの弱い弱い変身ライダーが誕生。

こぶは卵です。弱虫が生まれ育つ初めの卵。でもこれを温めると、チキンに成る。「根性とバランス」、無敵になるまで修練を重ね、目指せ！正義のライダーを。

こぶの横には、パウダーも、樹木もあります。例えば野沢—いいですね。

深いこぶは、こぶにボードを任せきり、飛び出しを楽しみましょう。腹筋、背筋は鍛えて損はない。琵琶湖バレーのバートンライダー達はこぶを皆で滑っていた。これも見逃せないワクワクだ！

(06に向けて)

06はどんなボードやブーツが関西Kを彩るのでしょうか？楽しみです。

「今から・これから！」 孝三。



私がKサークルに参加したきっかけは、大学でたまたま学籍番号が3つ違いの川畠秀司講師と出会い、実験、実習で同じ班でほとんど雑談ばかりしている時、Kサークルの誘いがあったからです。

あれから18年が経ちました。その間様々なお手伝いをさせていただきましたが、今回の感想文が一番遅くなり苦労しました。広報の方にご迷惑がかかり、申し訳ありませんでした。

今年のお正月も天候、十分な積雪に恵まれ、カービングスキーが楽しめました。どうやら暖冬と積雪量は関係ないみたいです。

特別班の講師は八木さんでした。八木さんとは会社の同期でKサークルに誘ったのは私でした。

いつの間にか準指導員？追い越されましたね。グループで行くスキーではスキー理論を唱えて、よく講師役をやってくれましたが、現実にレッスンで対面になるとは・・・。準備が大変だと思いますが、これからも頑張ってください。

最近では生活環境も変化し、家族を持つようになってからはスキーの滑走日数も子供の成長するに従って削られていき、気が付けばKサークルのみになっていました。

スキーに対する考えも『スキー技術向上』から『スキーを楽しむ』に変化してきました。

今後も生涯スポーツとして、Kサークル・スキーと付き合いたいと思います。



『ひろしです。？』

スノーボード班講師 西川 佑介指導員

西川です。深雪でこけて40分ももがいたとです。

西川です。白銀の世界を夢見てたら歯茎の世界が夢に出てきて気持ちが悪くなったとです。

西川です。話が寒すぎるとです。

西川です。気がつくともブーツが臭うとです。

西川です。オークションの品物が中途半端に豪華だったとです。

でもゴーグルは翌日には割れたとです。

西川です。新しい道具を買って滑ると必ずいつも壊れるとです。

西川です。10年も行っているのに内田食堂ではカツ丼しか食べたことがありません。

西川です。夜のカラオケは小学生も参加したので、唄う歌がYMCAではついていけないとです。

西川です。薄着をしてゲレンデに出ると吹雪くとです。

西川です。未だに水なしゲレンデの場所が判りません。

西川です。西川です。西川です。

『男児一戦して敗るるも已む勿れ』

スキー 1 級班 太田 博之さん

娘に投稿依頼が来ましたが書こうとしないので、親父の責任で筆を取りました。

ご存知のようにKサークルには長年お世話になっております。いつまでたっても上達しない私を暖かく見守り、ご指導いただいていることを感謝いたします。

しかしながら、遅々として上達しない自分自身に嫌気がさしているのも事実です。2 級をとったときに「有言実行」が私のモットー（不言実行は人に言わないわけですから、自分に逃げ道を作ることになりますので好きな考えではありません。「有言」してできなければ、あるいはやらなければ「あいつは口だけや」のそしりを受けるわけですから必死になって頑張るわけです。つまり、自分を自分の言葉によって追い込んで頑張るということです。阪神岡田監督が好きな言葉でもあります）ですので、友人に「45 歳までに 1 級をとるぞ！」と宣言しました。

しかしながら、来年の 2 月 22 日に 45 歳を迎えますので、どうやら実現できそうにありません。現在、8 点も足りないわけですからお話にならないわけです。それで、自分の才能の無さに暗澹たる気持ちになったとき、私の心に、敬愛する我が母校同志社の創始者新島襄の次の言葉が浮かびました。「男児一戦して敗るるも已む勿れ 再戦して已む勿れ 三戦して已む勿れ 刀折れ矢盡きて已む勿れ 骨摧血盡きて已むべきのみ」私は決してあきらめません。否、ここまで一生懸命にやってあきらめるわけにはいきません。何年かかっても絶対に 1 級を取ってみせますので、どうぞ末長くお付き合いくださり、ご指導くださいますようお願いいたします。

『スキー準指導員に合格して』

植野 誠二さん

2005 年 2 月 20 日、スキー準指導員に合格しました。この日は私の誕生日でもあり、合格者の代表で合格証を手渡されたりと、とてもいい誕生日となりました。

しかし、1 年前も受験しており、この同じ日に合格発表がありました。合格者が次々ゼッケン番号順に呼ばれていくなか、私のゼッケン番号が呼ばれなかった瞬間、自分の滑りを全て否定されたような気持ちになりました。

また、合格発表後、種目毎の合否内容が配布され、自信のあった種目の殆どが「否」だったの見て再び凄く落ち込みました。

シーズン初めの 11 月から理論（スキー技術の理論や歴史等スキー全般に関する記述試験）を通勤時や休日に勉強し、また 6 日間の実技講習を受けたりプライベートスキーでもボーゲンやシュテムターンを練習したりと 4 ヶ月の間、ひたすら合格のために努力してきた結果が不合格だと、この 1 年の努力は何だったのと凄く落ち込みます。

しかし、1 年目は各種目の形を真似していただけだと言うことが、2 年目にしてようやく分かりました。

2 年目では各種目で求められているスキー板の使い方を自分で理解することで、自信を持

って滑れるようになりました。今思えば、1年目に合格しないでもよかったと思います。

これからは、指導者の立場になりますが、仕事が教師でもない私は、「伝え方」に関して未熟ではありますが、楽しく気分が爽快になるようなスキーの伝え方をしていきたいと思いますので宜しくお願いします。

皆さんも不合格だと凄く落ち込んでしまうと思いますが、次へのステップだと思って諦めずに頑張ってください。

私も、次の目標としてクラウンを目指しますので、一緒に頑張りましょう。

それでは、一緒にスキー&ボードを楽しみましょう！ (^_^)v

新入部員のご紹介

今回、新しく入部された4名の方々をご紹介します。

氏名 岩本 知子さん

入部年月日 2005年3月7日

『入部に当たっての心がまえ』

スノーボードとの出会いは、大学1回生の頃。出来たら格好いいくらいの気持ちで始めましたが、初めて滑りに行った時にケガをしまい、そこからはボードに行く事は1、2回しかありませんでした。

しかし、教師になってから部活動に励む生徒達を指導しているうちに、自分も何かに熱中したい！！とボードを再開しました。そして関西Kサークルに参加させて頂き、講習や検定を受けるだけでなくボードの楽しみ方を教えて頂くことが出来、向上心も芽生えてきました。

これからも、その気持ちを忘れず楽しく頑張っていきたいと思っています。

どうぞよろしくお願い致します。

氏名 小城 美都子さん

入部年月日 2005年4月4日

『入部に当たっての心がまえ』

スノーボードを本格的に初めて7、8年になりKサークルには4年前に初めて参加し、今回で4回サヨナラスキーに参加させてもらっています。

自分の滑り方には、何個か課題があり、どの様にすれば良いのか理解はできていても、なかなか実践することは難しいです。

今後はこれらの課題を克服し、どんな状況でもスノーボードを楽しめる技術を身につけたいと思います。

ご指導下さいます様、よろしくお願い致します。

氏名 久世 通由さん

入部年月日 2005年4月4日

『入部に当たっての心がまえ』

スキーは生涯スポーツです、また、スキーほど上達を感じる楽しいスポーツはありません

でした。

これから皆さんと一緒に精進したいと思います。

氏名 安達 省泰さん

入部年月日 2005年4月11日

『入部に当たっての心がまえ』

オージス総研阪田さん（スキー班講師）のご紹介で参加させて頂きました。

Kサークルの指導員の方々には、わかるまで丁寧に教えて頂けるので、毎年参加しております。来年こそは一級取得できるよう練習を重ねたいと思います。

モーグルもしているのので、基礎スキーも両立できるよう頑張りたいと存じます。宜しく願いいたします。



2005年 合格者一覧（敬称略）

2005年には次の方たちが合格されています。**おめでとうございます！**

- スキー 準指 合格 植野 誠二
- スノーボード 準指 合格 西川 佑介
- スキー 全日本カービングスキー 越坂 京子
大会出場（愛知県代表）

	ス キ ー	スノーボード
正月スキー		2級 飯塚 崇憲 3級 塩谷 拓也 4級 塩谷 拓也 女屋 征大 大圃 聡恭 5級 塩谷 拓也
親睦スキー		1級 南波 竜睦 吉田 英優 2級 北野 剛正
サヨナラスキー	2級 毛綿谷 卓司 地丸 大介 3級 戸城 弘造	1級 岩本 知子 小城 美都子 3級 女屋 征大

～編集後記～ 編集者：植野 金田

昨年に引続きマルキ通信の編集を担当した金田です。通信を作りながらシーズンを振返っていると早く次のシーズンが来ないかなと思います（今シーズンが終わったところなのですが・・・）。来年もいい雪に出会えることを願って！

また来シーズンお会いしましょう！

